

オマーン国ドゥクム製油所における

新規作業請負契約を締結

山九株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村公大）の海外現地法人である山九サウジアラビアは、2023年2月にOQ8社（オマーン国営企業OQ社とクウェート石油公社の子会社Q8社の合弁企業）とドゥクム製油所における「常例一括作業請負契約」を新規締結致しました。本製油所は、1日当たり23万バレルの石油を精製するオマーン最大の製油所です。

受注内容は、オマーン中東部にあるドゥクム経済特区内に新たに建設されるドゥクム製油所内において、①石油コークス製品の Cutting 作業、搬送・保管作業、②固形硫黄（サルファー）の取扱作業、①②両製品の陸上輸送および、各関連設備・機器類のメンテナンス作業全般、契約期間は、2023年2月から基本4年間+最大2年間の両者合意に基づく延長オプション付きの計6年間となります。

2008年サウジアラビアでのプラント保全業務受注を皮切りに、中東においては6拠点までに拡大しました。オマーン国ソハール製油所での豊富な経験・実績に加え、作業提案を高く評価して頂いております。

オマーン内では2番目の事業拠点「ドゥクム支店」を新たに開設し、今年3月からの客先要請に基づく一部の操業・メンテナンス作業支援、並びに7月からの正式な作業開始に向け立ち上げ準備を開始しております。今後も同客先・各関連企業との連携強化の下、中東地域における更なる事業拡大を目指して参ります。



ドゥクム製油所



中東における山九の拠点マップ

OQ8社とは

2017年設立、ドゥクム製油所の運営会社。

オマーン国営企業OQ社とクウェート石油公社Q8(KPI)社からなるJV企業。1日当たり生産量23万バレルを精製するオマーン最大の製油所。インド洋とアラビア海の国際海運経路における海上立地の優位性により、地域内外の輸送プロセスを容易にすることをビジョンとして掲げている。